



グリコアルブミン測定のJSCC勧告法

(Ver.1 : 2008-3-31)

日本臨床化学会 糖尿病関連指標専門委員会
「グリコアルブミン測定の標準法の確立」プロジェクト

武井 泉¹, 星野 忠夫², 富永 真琴³, 中山 年正⁴, 桑 克彦⁵,
梅本 雅夫⁶, 松尾 雄志⁷, 石橋みどり⁸, 安川 恵子⁹, 谷 渉⁶,
岡橋美貴子², 渡辺 直美⁸, 小野 佳一¹⁰, 高妻 卓司⁹, 谷口 嘉之⁷

¹ 東京歯科大学市川総合病院 内科, ² 病態解析研究所, ³ 山形大学医学部 臨床検査医学,

⁴ (財) 緒方医科学研究所, ⁵ 筑波大学 臨床医学系, ⁶ 検査医学標準物質機構,

⁷ NPO日本食品安全協会, ⁸ 慶應義塾大学病院 中央臨床検査部,

⁹ 旭化成ファーマ 診断薬製品部, ¹⁰ 東京大学医学部附属病院検査部

JSCC Recommended Method for Glycated Albumin Measurement in Serum

Committee on Diabetes Mellitus Indices, Japan Society of Clinical Chemistry
Izumi Takei¹, Tadao Hoshino², Makoto Tominaga³, Toshimasa Nakayama⁴,
Katsuhiko Kuwa⁵, Masao Umemoto⁶, Yushi Matsuo⁷, Midori Ishibashi⁸,
Keiko Yasukawa⁹, Wataru Tani⁶, Mikiko Okahashi¹, Naomi Watanabe⁸,
Keiichi Ono¹⁰, Takuji Kouzuma⁹, Yoshiyuki Taniguchi⁷

Key words: グリコアルブミン, 二次基準測定操作法, 標準化, 標準物質, 同位体希釈質量分析

1. 緒言

グリコアルブミン (GA) の測定は糖尿病の新しいマーカーとして日常検査に導入され、現在、臨床検査の現場では酵素法のみが用いられている。この酵素法¹⁾による測定値は、最初に

臨床応用された高速液体クロマトグラフィ (HPLC) 法²⁾の測定値にトレーサブルになるよう、メーカーが定めた補正式を用いて補正されているが、HPLC法はすでに利用されていない。また、酵素法によるGA測定の標準化は同時にアルブミン測定の標準化も必須である。